

適期中干しで適正生育を確保しよう！

中干し開始までの水管理

- ・浅水管理(2~3cm)で地温を高め、分けつ発生を促しましょう！
- ・ワキの発生が多い場合は、水の更新や夜間落水によるガス抜きを行いましょう。

田植後25日に生育を確認し、遅くとも田植後30日には中干しを開始しましょう

60株植え: 茎数15本/株 50株植え: 茎数18本/株
に達したら、直ちに中干しを開始しましょう！



中干し開始適期



中干し開始時期としては遅い

適期中干しで、適正な生育量になるから、穂肥が施用できて、収量・品質が確保できるよ！



中干しは田面に小ヒビが入り、軽く足跡が付く程度まで！



小ヒビ



大ヒビ (乾かしすぎ)

乾かしすぎは品質低下につながる恐れがあるよ！



斑点米カメムシ対策

- ・斑点米カメムシ類の発生源をなくすため、水田内除草や、農道畦畔の草刈を徹底しましょう。(野焼きは禁止されています。)
- ・刈った草は、用水や河川に流さないようにしましょう。

【QRコードを読み取り稲作情報を確認しよう】

JA魚沼 北魚沼地区
営農情報 (LINE)
はこちら →



魚沼農業普及指導
センターHP稲作情報
はこちら →



お問い合わせ先

JA魚沼北魚沼基幹営農センター
025-793-1770
魚沼農業普及指導センター
025-792-1309

こまめな休憩と水分補給で、農作業中の熱中症を予防しましょう！